

世界の恒久平和と核兵器廃絶を求める意見書

世界の恒久平和は、人類共通の悲願である。

しかしながら、今も世界各地で武力紛争や対立が絶えず、核兵器の存在は、人類の生存と平和に対する最大の脅威であり続けている。

我が国は、世界で唯一の戦争被爆国として、核兵器がもたらした惨禍の歴史を後世に伝えるとともに、核兵器のない平和な世界の実現に向け、国際社会の中で積極的な役割を果たすことが求められている。

伊那市においては、平成18年9月21日に「世界の恒久平和は、人類共通の願いである」として、平和で住みよい世界を願い「非核平和都市宣言」を決議したところである。

世界情勢が一層厳しさを増す今日、この宣言に込められた平和への願いと理念を次世代へ継承していくことは、我々に課せられた極めて重要な責務である。

よって、伊那市議会は、国会及び政府に対し、以下の事項の実現を要請する。

記

- 1 世界の恒久平和の実現に向けて、国際社会と緊密に連携し、軍縮に向けた取組を強力に推進すること。
- 2 核兵器のない世界の実現に向け、「非核三原則」の堅持はもとより、国際社会における核兵器廃絶に向けて主導的な役割を果たすこと。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出いたします。

令和8年9月10日

伊 那 市 議 会